

各地の取り組み－宮城県における植物防疫業務－

宮城県病害虫防除所 所長 畑中 篤

■宮城県の農業の概要

宮城県は東北地方の東南部、太平洋側に位置し、東西約50km、南北約130kmと南北に長く、西部一帯は1,500m以上の標高を有する奥羽山脈が連なり、北東部に北上高地、南部に阿武隈高地が走り、北上川や阿武隈川などの流域の沖積平野に豊かな穀倉地帯が広がっています。

総面積は7,282km²（全国16位）で、そのうち耕地面積は1,263km²（2019年、全国8位）と耕地率は高く（同、全国6位、17.3%）、その約8割を水田が占めています。

気候は、東北地方としては比較的温暖で、降雪が少ないのが特徴ですが、夏季には「やませ」による低温の影響を受けて、いもち病の発生が助長される気象条件となりやすい立地です。

2011年に発生した東日本大震災では、約130km²の農地が被災しましたが、復旧工事はすでに完了し、大規模な施設園芸団地や土地利用型露地園芸が拡大しています。

農業産出額（2019年）に占める割合は米が43%、畜産が38%、野菜が14%で、生産量の全国上位品目には米（全国5位）、豆類（同3位）、いちご（同11位）などがあります。

■病害虫防除所の沿革

1952年（昭和27年）に県下12か所に病害虫防除所を設置し業務を開始しました。その後、1980年（昭和55年）には6か所（大河原、仙台、古川、築館、迫、石巻）に、また、1987年（昭和62年）には1か所（仙台市宮城野区）に統合され、1989年（平成元年）に宮城県仙台合同庁舎（仙台市青葉区）に移転し現在に至ります。

職員数は11名（うち事務職員1名）で、植物検疫と農業適正指導を担当する企画指導班（4名）と有害動植物発生予察調査（以下、「予察調査」）を担当する予察班（5名）の2班体制で業務を行っています。また、県内9か所の農業改良普及センター先進技術班長が病害虫防除所の兼務職員として病害虫の発生状況などの情報を共有し、生産現場とのパイプ役を担っています。

■業務の概要

(1) 有害動植物発生予察業務

水稻、麦類、大豆、果樹（りんご、なし）、野菜・花き（秋冬ねぎ、夏秋きゅうり、きゃべつ、いちご、きく）の10作物について、指定病害虫60種、県が選定した病害虫58種を対象に予察調査を実施しています。

予察調査は、試験研究機関である農業・園芸総合研究所と古川農業試験場が行う定点調査と、病害虫防除所が行う約160か所の巡回地点調査

から成り、発生予察情報を概ね月1回発表（4月は月2回、5～12・2～3月は月1回）するほか、必要に応じ注意報、防除情報、特殊報等を病害虫防除所のホームページ上で公表しています。

その他、フェロモントラップの誘殺数や病害虫の発生状況をグラフ化し、わかりやすい情報提供に努めています。

(2) 重要病害虫等侵入警戒調査

侵入警戒調査は、チチュウカイミバエ（3か所：りんご、なし園地に設置）、コドリング（5か所：同）、火傷病（24か所：りんご、なしを対象）、ウメ輪紋ウイルス（3か所：うめ、ももを対象）合わせて4病害虫について、継続して調査を実施しています。

(3) 農業適正使用指導

農業取締法に基づく立入検査を、県内5か所の地方振興事務所と役割を分担し実施しています。病害虫防除所は約110か所の農業卸業者（農業販売者）と33か所のゴルフ場（農業使用者）を対象に年間、それぞれ3分の1の事業所に対して立入検査・指導を実施しています。

また、農業販売者には自主点検表等を配布し、農業の適正な管理・販売の啓発に努めています。

(4) 病害虫関連情報の提供

最近問題となっている病害虫などの診断のポイントや防除方法などを解説した「病害虫ライブラリー」をホームページ上（<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/byogai/lib-top.html>）で公開しているほか、生産現場での病害虫診断や適切な防除に活用できる技術資料の作成に取り組んでおり、2018年には、生息域の拡大が懸念されていたクモヘリカメムシなどへの注意を促すため「斑点米カメムシ類判別シート」（図参照）を作成し関係者に配布しました。今後もコンテンツを充実させていきたいと考えています。

斑点米カメムシ類判別シート（主要種）

種名	アカスジカメムシ A	アカヒゲカメムシ B	フタトゲカメムシ C	オオトゲカメムシ D	ホソバカメムシ E	クモヘリカメムシ F
体長	4.5～6mm	4.5～6.4mm	6.8～8mm	5～7mm	9～11mm	15～17mm
特徴	●翅脈の観察が難しい ●体色は暗褐色 ●体長は4.5mm前後 ●翅脈の観察が難しい ●体色は暗褐色 ●体長は4.5mm前後	●体色は暗褐色 ●体長は4.5mm前後 ●翅脈の観察が難しい ●体色は暗褐色 ●体長は4.5mm前後	●体色は暗褐色 ●体長は6.8mm前後 ●翅脈の観察が難しい ●体色は暗褐色 ●体長は6.8mm前後	●体色は暗褐色 ●体長は5mm前後 ●翅脈の観察が難しい ●体色は暗褐色 ●体長は5mm前後	●体色は暗褐色 ●体長は9mm前後 ●翅脈の観察が難しい ●体色は暗褐色 ●体長は9mm前後	●体色は暗褐色 ●体長は15mm前後 ●翅脈の観察が難しい ●体色は暗褐色 ●体長は15mm前後
類似種とその識別点	ナガグロカメムシ K	アカヒゲカメムシ L	フタトゲカメムシ M	オオトゲカメムシ N	ホソバカメムシ O	クモヘリカメムシ P
※	●体長がアカスジカメムシより長い ●翅脈の観察が難しい ●体色は暗褐色 ●体長は4.5mm前後	●体長がアカスジカメムシより長い ●翅脈の観察が難しい ●体色は暗褐色 ●体長は4.5mm前後	●体長がアカスジカメムシより長い ●翅脈の観察が難しい ●体色は暗褐色 ●体長は4.5mm前後	●体長がアカスジカメムシより長い ●翅脈の観察が難しい ●体色は暗褐色 ●体長は4.5mm前後	●体長がアカスジカメムシより長い ●翅脈の観察が難しい ●体色は暗褐色 ●体長は4.5mm前後	●体長がアカスジカメムシより長い ●翅脈の観察が難しい ●体色は暗褐色 ●体長は4.5mm前後

図 「斑点米カメムシ類判別シート」

（古川農業試験場制作・病害虫防除所発行）